



大一小だより

令和4年5月31日
6月号 練馬区立大泉第一小学校
校長 森田 和久

<http://www.oozumi1-e.nerima-kyo.ed.jp/>

「かつやくする 時間」

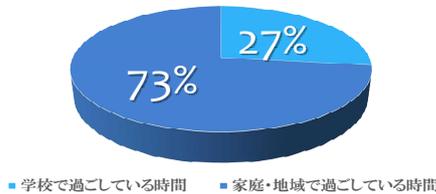
～学校で生活する時間は長いようで短い～
校長 森田 和久

「おはようございます!」。校門で元気な挨拶から学校生活がスタートします。私が校門を開けると、子供たちは走って玄関に向かいます。そんな姿を見ると、一日の学校生活がスタートしたな!と感じます。

さて、「学校で過ごす時間」と「家庭で過ごす時間」どちらが多いのでしょうか?(資料参照)

子どもの生活時間・学校と家庭(小)

子どもが1年間で起きている時間のうち、学校にいる時間



ある資料によると「子供が1年間で起きている時間のうち学校で過ごしている時間は27%」「家庭や地域で過ごしている時間は73%」。圧倒的に家庭や地域で過ごしている時間が多いのです。その中で、子供たちは自然に、自ら「かつやく」をしています。生活する中で「ノートに自分の考えを書く姿」「休み時間に長縄に挑戦する姿」「失敗した友達を励ます姿」「清掃時間に最後まで取り組む姿」等、日常の学校生活の中で日々「かつやく」しています。それが、短い学校生活の時間で繰り返され、一人ひとりの成長につながっています。ご家庭でも、子供たちは必ず「かつやく」しています。何気ない子供たちの生活からたくさんの「かつやく」を、ぜひ見取ってほしいと思います。

大人も子供も、どのような状況でも誰でも、時間は確実に過ぎていきます。「今日はやることがないから時間は少しいい」とか、「今日は忙しいから、いつもより時間がほしい」と感じて、1日が24時間であることは変わりません。その決まった時間を使い方によって、短くも長くもすることができます。これは、学校でも家庭でも同じです。その限られた時間で子供たちの「かつやく」に触れ、そしてますます子供たちが「かつやく」できるよう

に、導いていくことが本校の教育活動です。学校生活より長い時間を過ごしている家庭・地域での、子供たちの「かつやく」を期待しています。まだまだコロナ禍の生活が続きますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。



6月行事予定

日	曜日	行事予定
1	水	B時程5時間授業 個人面談①
2	木	安全指導 水道キャラバン(4年)
3	金	読書旬間終 B時程 個人面談②
4	土	
5	日	
6	月	連合音楽鑑賞教室 (5年)
7	火	B時程5時間授業 個人面談③ 歯科保健指導(4年)
8	水	B時程5時間授業 個人面談④
9	木	B時程5時間授業 個人面談⑤
10	金	自転車安全教室(3年)
11	土	B時程 学校公開 避難訓練(集団下校)
12	日	
13	月	クラブ活動③
14	火	新体力テスト
15	水	B時程 4時間授業
16	木	4時間授業
17	金	新体力テスト予備日
18	土	
19	日	
20	月	水泳指導始 都学力調査 (4年)
21	火	移動教室事前検診(5・6年)
22	水	B時程 5時間授業 武石移動教室(5・6年)
23	木	武石移動教室(5・6年)
24	金	武石移動教室(5・6年)
25	土	
26	日	
27	月	委員会活動 学校評価アンケート(第1回)始
28	火	ハッピー班活動
29	水	B時程 4時間授業
30	木	音楽朝会 定期健康診断終

◆お願い『タブレット型端末の家庭での使用について』

児童が家庭に持ち帰るタブレット端末は、家庭用で使用している「Wi-Fi」等の設定に変更しないでください。タブレット端末が学校で使用できなくなります。また、**ドングルが破損し、交換しないと使用できなくなります。通信環境の設定は絶対に変更しないでください。**

今年度の小中連携について

小中一貫コーディネーター 砂塚 優子

「ねりまの小中一貫教育」は、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通した教育を行っています。小中一貫教育のめざすものとして、以下3つがあります。

- ① 学力・体力の向上
- ② 豊かな人間性・社会性の育成
- ③ 安定した学校生活

これらを通して、学習意欲の向上や自己肯定感の高まり、不登校の減少を目指しています。

本校では、大泉北中学校、大泉北小学校とともに連携教育を行っています。

連携する3校で、互いの授業を見合い、授業内容等について意見交換を行います。小学校の教員が中学校で教える内容を理解することで、小学校での指導のポイントを把握したり、中学校教員が小学校での学習内容や指導方法を理解することで中学校での指導方法を改善したりするなど、小中の接続を意識した授業力向上を目指していきます。

このように9年間を見通した、小中一貫教育に取り組むことで、子供たちの力を高めていきます。

個人面談でお伝えしたいこと

生活指導主任 原 昭人

6月1日から個人面談が始まります。短い時間ではありますが、子供たちが有意義な学校生活を送れるような話し合いができれば、と考えております。

個人面談では、学校でのお子様の頑張りを伝えると共に、課題もお伝えすることもあるかと思えます。学校では、担任としてどのように対応し、どのような姿を目指しているかをお話ししたいと思います。

それと共に、家庭での様子などもお伺いしながら、お子様の力を伸ばすため、学校と家庭が連携し一緒に考えていく機会にしていきたいと考えます。

子供たちは、同じ学年でも成長していくスピードは皆異なります。他のお子様と比べることなく、小さなことでもそれが前進であるなら誉め、間違っていることなら大人として正してあげ、どんな時も最後は励まし声を掛けることで、次に繋げてほしいと思えます。

また、ご家庭からもご相談等ございましたら、お伝えいただけると幸いです。児童がよりよい学校生活を送るためには、ご家庭の協力が不可欠です。何卒よろしくお祈りいたします。

体力テストについて

体育主任 石母田 陽平

毎年6月に新体力テストを実施しています。種目は、握力、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ、反復横跳び、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈の8種目です。

昨年に引き続きコロナ感染に十分注意しながら全ての種目が実施できるよう取り組んでまいります。

子供たちの記録は、6年間記録できるものを書きためており、自分自身の体力の伸び具合を振り返ることができます。子供たちには昨年度の自分の記録を超えられるように取り組んでほしいと思えます。ご家庭でも体調管理に気をつけていただきますようよろしくお願いいたします。

6年生の取り組み

6年1組 担任 松本 大輔

6月22日からの武石移動教室に向けて準備を進めています。5年生の時は、移動教室にも社会科見学にも行けなかったのが、子どもたちの期待は大!

現在、事前学習として各自でテーマを決めて長野県や見学先などのことについて調べています。今後、まとめたことを発表し合い、長野・武石への関心をより深めて現地に向かいたいと思えます。

子どもたちにとって充実した思い出深い3日間とすることができるよう準備を進めていきます。

6年2組 担任 丸池 温子

2組では、子供たちが主体的に漢字の学習に取り組めるように、課題を設定しています。「読めない漢字は書けない、書けない漢字は使えない」という考えの基、現在は漢字スキル音読に力を入れ、まずは新出漢字がすべて読めるようになることを目指しています。クラスでは、「プレッシャー音読」と銘打って、ゲーム感覚で読みの習熟を確認できる活動を行っています。楽しい要素も取り入れながら、漢字の知識が身に付くようにこれからも指導していきます。

